



したのやムラで活動しましょう!

したのやムラでは、ムラびとや、ムラびとに興味がある方が特別に参加できる活動を、遺跡や郷土資料室を活用して随時行って行きたいと思っています。考古学者になっつもりで参加できる、出土した土器や石器を丁寧に洗浄する「ドキドキ土器洗い」。史跡整備地に縄文時代の里山の植生を復元するために行う、現在の植生調査など。実際の日時や参加方法など詳細が決まり次第、メールやホームページでお知らせしますので楽しみにしててください。

ただし、現時点では新型コロナウイルス感染の急拡大から、なかなか皆さんが集まっての活動が難しい状況です。今はお家で考古学。教育委員会では、下野谷遺跡のリーフレットを配布したり、ホームページ上で遺跡の情報をお伝えしています。また、お家で楽しめる遺跡に関するたくさんの動画や、アプリもご用意しています。したのやムラで活動できるその日まで、様々な知識を身につけ、充実した縄文ライフを過ごしましょう!

My favorite photo

わたしのお気に入りの1枚



下野谷から見た東伏見の街です。なんでもない風景ですが、約60年前、3歳の私がこの地に来て初めて見たのが、この場所の風景です。思えば、これが人生の明確な記憶の始まりのような気がします。高い建物以外は、あまり変わっていないようです。あれから、この街でたくさんの思い出が生まれました。
(現在は柳沢在住、男性)

このコーナーに掲載する下野谷遺跡の写真を皆様から大募集しています! 件名に「わたしのお気に入りの1枚」と入力し、下記メールアドレスまでお送りください。お待ちしております。

✉ syakyou@city.nishitokyo.lg.jp



お知らせ

現在、下野谷遺跡では遺跡表示タイルや、トイレなどを建築して皆様が見学しやすいよう整備しています。来年度には竪穴住居等を復元する予定ですので、お近くにお越しの際はぜひご見学ください。例年行っていた「縄文の森の秋まつり」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、動画配信による開催となりました。ご参加いただいた方には心から感謝申し上げます。これからも皆様と育てる下野谷遺跡を、よろしくお願いいたします。

したのやムラだより vol.2 (2022/3)

発行: 西東京市教育委員会 教育部 社会教育課 文化財係

☎ 042-420-2832

✉ syakyou@city.nishitokyo.lg.jp

H P:



したのやムラだよりでは今後も、したのや遺跡の魅力や活動の成果について、定期的にご紹介いたします。お楽しみに!



春の足音が聞こえてきました。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。おまちかね、したのやムラだよりの第2号をお届けします。今から5~4,000年前にあった縄文時代の集落の復元整備をするために、令和3年9月に下野谷遺跡の発掘調査を行いました。今回のしたのやムラだよりでは、その調査の結果について、主にお知らせします。

したのやムラの夜のお話

今日も空が
きらきらしているね。
あっ、星が落ちてきた!

お父さんが大きな石を
とりにいった川は
あの十字に見える
星の下ね。

電灯のあかりなどない縄文時代の夜は、今よりたくさんの星が降るようみえたでしょう。今私たちが北極星をたよりに北を探るように彼らも星で方角を読んでいただと考えられます。

ただし、地球が自転する回転軸が斜めなために縄文人の見ていた星空は、今の星空とは少し違い、したのやムラからは南十字星も見えたようです。

したのやムラのあった今から5,000年前ごろ、ピラミッドを作っていたエジプトでは、すでに星々に名前をつけた「星座」がありました。

縄文時代はどうだったでしょうか。もしかしたら、「土器座」なんてあったかも…。

VR 下野谷縄文ミュージアムを遺跡でダウンロードしていただくと下野谷遺跡の4500年前の星空や夜のムラの様子が楽しめます。

ダウンロードはこちら→



下野谷遺跡 第35次 調査速報



令和3年8月6日(金)～9月17日(金)
下野谷遺跡整備予定地にて



住居跡で縄文土器がまとまって発見された様子

この夏、下野谷遺跡では、史跡整備に必要なデータをとるための発掘調査を第35次調査として行いました。



今回の調査は、復元する竪穴住居跡の大きさや柱の位置などを調べるための調査で、A～C3軒の竪穴住居を発掘しました。

今から4,500年ほど前の勝坂式期の住居跡(A)からは大量の土器が密集して発見されており、家として使

われなくなり、廃屋となったのち、窪みに土器が廃棄されたものと考えられます。

こういった住居を利用して墓とする「廃屋墓」の例もあることから今後の分析が重要です。

この土器の廃棄の状況は、整備でも復元することにしており、今回早稲田大学と共同で3D計測でのデータ採取を行いました。整備を楽しみにしていただき、もう一軒の住居(B)は、Aより少し新しい加曾利E式期の住居です。規模はAより少し大きく、入口部にテラス状の構造物がある、少し凝った造りをしています。奥にはドングリをすりつぶす石皿が床に置かれていて、意図的なものかどうか、類例を探しています。Cの住居の中央からは、灰をためて炉として使ったき

れいな土器がみつき、その型式から、Aと同じ勝坂式期のものであることがわかりました。

また、調査地からは家の跡以外にもたくさんの縄文土器が出土し、中にはこれまであまり類例のない四角い形をした器台(浅い鉢の底につけて台のようにするもの)や耳飾りなども見つかりました。



これから出土した住居跡などの遺構、土器や石器といった遺物などの整理や分析が始まります。ムラびとのみなさんのお力もお借りしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



イベント 報告

今年度実施した下野谷遺跡に関するイベントをご報告します！
新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの開催ではなく、動画配信など、新しい生活様式に合わせての実施となりました。

科学の視点で考古学

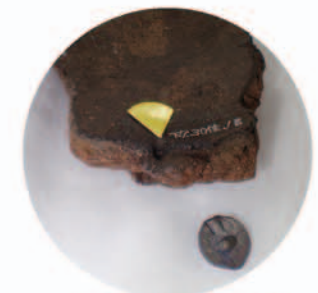
土器のくぼみ(圧痕)から植物を調べる

令和3年7月11日(日)に多摩六都科学館学習室で、佐々木由香先生(植物考古学者)によるワークショップを行いました。

圧痕についての解説や顕微鏡での観察、下野谷遺跡から出土した本物の土器を用いた説明など、盛りだくさんの内容でした。



アクリル板越しに
大学生が実演&解説
してくれました。



圧痕の型取り(エゴマ)



第15回 縄文の森の秋まつり

つながる 遺跡とまちとみんなの心

下野谷遺跡毎年恒例の秋まつり。今年は動画配信での縄文体験のデモンストレーションや演奏会を行いました！また、「まがたま」や「タカラガイのストラップ」の体験キットを配布し、お家で縄文体験を楽しんでもらいました。

体験キットやプレゼントの配布は終了しましたが、動画は西東京市動画チャンネルで視聴可能ですので、ぜひご覧ください♪

秋まつり動画はこちら→



とってもすてきなオープニング！！



来年度は遺跡で
会えるといいなあ♪

